TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　主の働きを行う
コリントの信徒への手紙一　16 章 5－12 節

2025 年11 月 1 日 & 2 日
余沢　武　牧師

Ⅰはじめに
こんにちは。いつも IBP（Impact Building Plan）を支えてくださり、ありがとうございます。今月の活動報告をお知らせします。
HPBC（Hawaii Pacific Baptist Convention）を通して送金される米ドルは 2 ヶ月ごとの送金となっているため、今月の報告にはすべての献金額が反映されておりません。ただし、これまでの傾向から見て、同じペースで増加していると思われます。
忠実なご支援に心より感謝いたします。

コリントの信徒への手紙一を通して、私たちは「神さまの知恵」、すなわち「福音」が他の何ものにもできない方法で私たちを変える力を持っていることを学びました。しかし、コリントの教会の人々がその知恵を軽んじたために、教会内の分裂や不品行、偶像礼拝、自己中心的な思い、自己愛、そして復活に対する疑念といった問題に直面していたのです。

パウロは、死が打ち破られたことを私たちに確信させてくれました。だからこそ、私たちは「委ねられた資源」や「自分自身の人生」によって、主の働きに励むことができるのです。今日はそのことを中心に考えていきましょう。まず、祈りましょう。

Ⅱ. 主の働きを行う
(1)神の民と共に時を過ごす
コリントⅠ 16:5-7「[5] 私は、マケドニア経由で、そちらへ行きます。マケドニアを通過した後、[6] たぶんあなたがたのところに滞在し、場合によっては、冬を越すことになるかもしれません。そうなれば、次にどこへ行くにせよ、あなたがたに送り出してもらえるでしょう。[7] 私は今、旅のついでにあなたがたに会うようなことはしたくありません。主が許してくだされば、しばらくあなたがたのところに滞在したいと望んでいます。」

パウロはこう言っています
「私は今、旅のついでにあなたがたに会うようなことはしたくありません。主が許してくだされば、しばらくあなたがたのところに滞在したいと望んでいます。」

これまで学んできたように、死は打ち破られました。だからこそ、私たちは「主の働き」に励むべきです。ここでパウロは、神の教会と共に時を過ごし、自らの人生を分かち合うことによって、その働きを実践しています。

犯罪学者のシェルドン・グルックとエレノア・グルックは、5 歳または 6 歳の子どもが将来非行に走るかどうかを予測するテストを開発しました。その正確性は 90%にも及びます。
二人は、非行を防ぐための 4 つの要因を発見しました：

1. 父親による公平で一貫したしつけ
2. 母親による日中の見守りと共に過ごす時間
3. 両親が互いにも子どもにも愛情を示すこと
4. 家族全員が参加する活動を通して共に時間を過ごすこと

注目すべきは、この 4 つのうち 2 つが「共に時間を過ごすこと」に関係している点です。それこそが、私たちが他者に影響を与える方法なのです。

使徒 4 章では、ユダヤの指導者たちはペトロとヨハネを見て「驚き、彼らがイエスと共にいたことを認めた」とあります。イエスと共に過ごした時間が、彼らを変えたのです。
だからこそ、教会の礼拝やスモールグループに共に集うことはとても大切です。私たちが共に時間を過ごすことで、互いに影響を与え合うからです。

ただ注意は必要です：
・もし私たちが陰口を言ったり、他人を批判したりすれば、周りの人もそれを学び、同じように振る舞うようになります。
・もし私たちが信仰と愛によって語り、行動すれば、周りの人も信仰と愛によって語り、行動することを学ぶのです。

でも、最後の言葉に注目してください。パウロは**「主が許してくだされば」**と言っています。私たちが人々と時間を過ごすことが大切とはいえ、「主が許されること、つまり主が最善だと考えられること」しかできません。

私が獣医として働いていた頃、特定の日の休暇を願い出ると、上司は「はい」か「いいえ」で答えました。その判断は、私の都合ではなく、上司が最善だと考えることに基づいていました。
私たちが「主の働き」をするとき、仕事に就いたり、学校に入ったり、何かを持っていたりすることでより良く主に仕えることができると思うかもしれません。でも主は、「はい」か「いいえ」と言われます。それは、私たちの考えではなく、主がご存じの最善に基づいているのです。

(2)主が働かれるとき、必ず反対する力も起こります。
8-9 節「[8] しかし、五旬祭まではエフェソに滞在するつもりです。[9] 私の働きのために大きな扉が開かれているだけでなく、反対者も大勢いるからです。」

「私の働きのために大きな扉が開かれている」というパウロの言葉は、エフェソで神によって人々の人生が変えられていることを示しています。

ここに重要な原則があります。扉が開いているときは、主が働いておられるので、その扉を閉じてはいけません。
それはまるでペンテコステの日のようです。ペトロが福音を語ったとき、人々は「私たちはどうすればよいのですか？」と叫び、3000 人の人生が完全に変えられました。それは神にしかできないことです。神が働いておられるとき、止めてはいけません。エルサレムがどれほど変えられたかを思い出してください。

似たことは、ここでも起こり得えます。特に、バプテスマを受けたいと願う人々と話すときに感じます。
いつも、誰かしらがある人、あるいは YouTube などを通しての経験を話してくれます。そして、イエスを信じ、イエスの赦しを受け入れ、イエスに従う決心をしたと言うのです。私は感動しながら聞ききつつ、考えます。それは神にしかできないことだと。
するとまた別の人が、違う背景の中で、ほとんど同じ決断を語ってくれるのです。私は鳥肌が立ちます。扉が開かれていることがわかります。神が働いておられるのです！　このようなことが起こっていて、パウロはエフェソにとどまっていました。

興味深いことに、パウロは**「しかし、多くの者が私に反対している」**と言いました。神が働かれるとき、必ず反対も起こります。

旧約聖書の**列王記上 18 章**には、預言者エリヤが異教の神バアルの預言者 450 人に挑む壮絶な物語が描かれています。場所はカルメル山、干ばつの時期です。エリヤとバアルの預言者たちは、それぞれ祭壇に薪を積み、いけにえを置きました。

その挑戦は、「どちらの神が火をつけて、薪といけにえを焼くことができるか」というものでした。まず、450 人のバアルの預言者たちが先に試みました。彼らは 1 日中叫び、踊り回りましたが、何も起こりませんでした。

それから、エリヤの番になりました。彼はそこにいた人々に、いけにえと薪の上に 4 つのつぼの水を 3 回かけるように頼みました―すべてがびしょ濡れになるまで。そして、彼はただ静かに祈って言いました。

「主よ、アブラハム、イサク、イスラエルの神よ、今日、あなたこそがイスラエルにおいて神であり、わたしがあなたの僕であり、あなたの言葉によってこれらすべてのことを行ったことが知られますように。主よ、わたしに答えてください。」
すると、主の火が降って、焼き尽くすいけにえや薪、石や塵を焼き尽くし、溝の水をなめ尽くした。

人々は皆、地にひれ伏して叫びました。
「主こそ神だ！ヤハウェこそ神だ！」
皆が悟りました。エリヤの力ではなく、神ご自身が働かれたのです。そして、空から雨が激しく降り始めました。その後、反対が起こります。イゼベルがエリヤを殺そうとしました。エリヤは命を守るために逃げ続けました―神が彼を立ち止まらせるまで。

私たちが本当に「主の働き」をしていて、神が私たちを通して実際に働いておられるとき、人々の人生は変えられます。しかし、反対する力もやって来ます。批判や落胆も訪れます。それでも、止まってはいけま

せん。恐れたり、苦々しくなったり、陰口を言ったりして、罪に陥ってはいけません。その時こそ、霊的に戦うのです。

私たちの心に苦々しさや陰口が入り込んでくるのを感じたときは、「神さまの知恵」を思い出しましょう。へりくだって自分の罪を認め、神の赦しを受け入れ、助けを求めるのです。神を信頼し、従い、愛し、そして人々を愛せるように。それこそが、私たち自身が「神の働き」となり、「神の栄光」を映し出す道なのです。

(3)主の働きの妨げとなってはいけません。

10-11節「[10] テモテがそちらに着いたら、あなたがたのところで心配なく過ごせるようお世話ください。彼も私と同じように、主の仕事をしているのです。[11] 誰も彼を軽んじてはいけません。彼を平和のうちに送り出して、私のところに帰してください。私は、彼がきょうだいたちと一緒に帰るのを待っています。」

気をつけるべきことが一つあります。それは、私たち自身が「主の働き」の反対者にならないようにすることです。テモテは、パウロと同じように「主の働きに励む」しもべです。パウロは、「彼が恐れることのないようにしてほしい」と言っています。何を恐れるのでしょうか？ それは、彼を見下したり、働きを妨げたりするクリスチャンたちの態度です。

教会の中には、神がテモテを通して何をなさっているかに興味のない人たちがいました。その心には、自分たちの方が上だと――自分たちがいつも正しくて、テモテは自分たちから学ぶ必要があると。

まるで、夫婦関係のようです。一方の配偶者が、もう一方が料理や掃除、皿洗いをしているときに、常に背後から見張っていて、いつも正してやろうと口出しする――駄目、駄目、そうじゃないよ、と。

さて、これは相手が神に対して罪を犯しているかもと、愛するが故の心配でしょうか。いいえ。聖書は、料理や掃除、皿洗いの仕方について命じてはいません。こう言うだけです。「夫よ、妻を愛し、自分自身を妻へ与えなさい」そして、「妻よ、夫に従いなさい」

しかし、聖書に書かれていなくても、私たちに「受け入れられないこと」があるのです。神が「よい」と言われても、私たちはそう思わない。そして、自分の思い通りにするために、罪を犯すことさえいとわないことがよくあります。たとえそれで「愛すること」や「従うこと」を止めてしまっても。これは教会の中でも起こり得ます。

聖書に書かれていなくても、私たちが「受け入れられない」と感じることがある。神が「よい」と言われても、私たちはそう思わない。そして、思い通りにするために、罪を犯すことさえいとわないことがよくあります。それで互いに「愛し合い」「従い合う」ことを止めてしまっても。その結果、私たちは「主の働き」の反対者となるのです。

12節「兄弟アポロについては、きょうだいたちと一緒にそちらに行くようにと、何度も勧めましたが、彼には今行く意志は全くありません。良い機会が来れば、行くことでしょう。」

ここで、教会の人々がテモテに冷たく対応した理由が見えてきます。彼らはテモテではなく、アポロを望んでいたのです。しかし、神はアポロを遣わしておられません。主の教会で、私たちの人生、家庭、学校、職場で何が起こるかを決めるのは、主ご自身です。私たちが、それを好ましく思わなくても。

失望し、腹を立て、さらには不満を抱くこともあるでしょう。けれども、神は私たちの罪の感情は受け入れません。神の反対者である悪魔だけが、そうした罪深い感情を受け入れ、正当化までしてきます。しかし、神は、私たちが怒りや不満、批判的な心によって罪を犯していることを教えてくださるのです。

もし私たちが「神さまの知恵」を持っているなら、へりくだって自分の罪を認め、神の赦しを受け入れ、変えてくださるように助けを求めるでしょう。へりくだって祈るとき――まさにエリヤが祈ったときのように――私たちの内に「主の働き」が驚くべきかたちで現れるのを見ることになるのです。

私たちは、すべてのことにおいて「神の支配」をへりくだって受け入れています。ただ神を信頼し、従い、愛し、祈り、他の人に仕えているだけです。完全に変わるでしょう。

私たちが互いに時間を過ごすとき、その姿勢は教会の一人ひとりに広がっていきます。
「主の働き」が教会全体に明らかになります。これこそが教会の成長です。
教会全体が各家庭で、学校で、職場で、これまでとは違う行動をするようになります。
「神の御国」がこの世に深く広がっていくのです。パウロは言います。「主の働きに励みなさい」

もしあなたがイエスを知らず、「怒りや憤り」の中で生きているなら、あなたも、自分の罪を認め、イエスに赦しと変化を願い求めることができます。今日こそが、あなたの救いの日となるようにしましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg4525jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
11 月 8 日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 401
人生の使命を発見する
11 月 9 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ルーム 304(3F)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 402
キリストの伝え方
11 月 23 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 まで修了した、TBCメンバーの方

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト＆印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。今見ているこの紙を作成＆印刷してもらいます。ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

***スキル：MS Word の操作ができる方。**
***TBC の教会員であることが必須です。**

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org